

11月28日 ほほえみの会いたこ 資料

生活支援

ちょっと振り返ってみましょう。
ほほえみの会いたこが目指したいのは
こんなことだったんです・・・。

いざとなれば介護保険が
何でもしてくれるんだろ

買い物 料理 洗濯 ゴミ出し

とんでもない！介護は人材不足
介護保険料も上がり、自己負担も1割⇒2割⇒3割と増え続け
2025年には高齢者の割合が30%超。
介護者が40万人不足と言われているのです。

悪い例 丸投げ地区

田中さん

自分の事もできないのなら排除してしまえ！

ご近所問題にも無関心

なんでも役所頼み

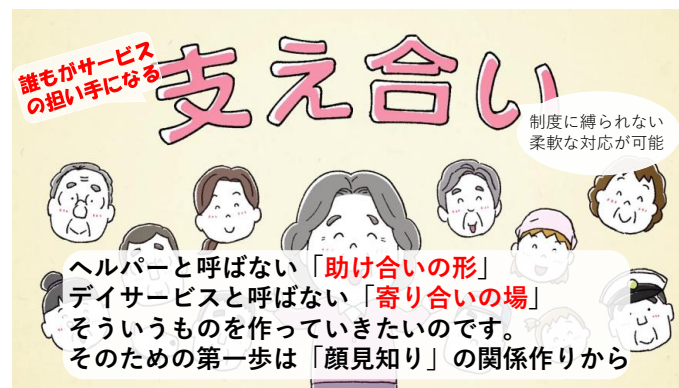
良い例 支え合い地区

田中さん

何か私たちでも
してあげられるかしら？

どうすれば今の
(自宅での)
暮らしが続けられ
るだろう？

それが根底にある。



「いっしょに たすけあう こみゅにてい」を考えよう

座談会のお知らせ



社協にて

毎月 **28日** 午後1時半から 開催中

(※月によっては日程が変わることがあります。HPを参照ください)

「生活支援体制整備事業」とは、介護保険制度では賄いきれない生活支援サービスや、地域住民で支えあう体制づくりを目的としたものです。今後、「生活支援コーディネーター」を地域に派遣して、社会資源の発掘やニーズの分析などを行いながら、潮来市にあった住民主体による支え合いづくりを進めていきます。

これまでの流れ

○勉強会

- 1回目(9/27) 「社協ってどういうところ」県社協 福祉のまちづくり推進部長による講義
- 2回目(10/18) 「いっしょに たすけあう こみゅにてい」づくり ワークショップ
- 3回目(12/18) 「支え愛の輪を広げる」取り組みについて 鹿嶋市社協職員による講義

勉強会の様子



助け合いゲーム



社会資源シート



○座談会

- 1回目(1/28) 助け合いゲームで助け合いのかたちを知ろう
- 2回目(2/28) 社会資源シートで、潮来の地域資源を知ろう (潮来一中・潮来二中地区)
- 3回目(3/28) 予定 ⇒ 第2回目の続き (日の出中・牛堀中地区)

⋮

今後の予定

団塊の世代が、後期高齢者と呼ばれる75歳に達する時期(2025年問題)に向けて、市内の各生活圏域(中学校区を想定)に協議体を設置します。

協議体ではそれぞれの地域の特色に合わせた通いの場を作ったり、お年寄り見守りの体制を話し合うなど、住民一人ひとりが住み慣れた地域で「自分らしい暮らし」を続けていくための地域の助け合いのかたちを考えていきます。

協議体の話し合いの場には生活支援コーディネーターも同席し、一緒に問題解決を図ります。



「ほほえみの会いたこ」 第9回 座談会(9/30)

◆ 本日の内容 ◆

1. 他県、他市町村の「助け合い活動」事例紹介

- ① 子ども食堂 (鹿嶋市)
- ② フードドライブ (行方市)
- ③ わが町ツアー (鹿児島県東串良町)
- ④ おもいやりサポーター (栃木県市貝町)
- ⑤ スマホ教室 (岐阜県各務原市)

2. 話し合い ① 市内の台風一過後の被害、変化について

② 隣人や生活圏域での困りごとについて

3. まとめ

1-① 子ども食堂 (鹿嶋市)

◆子ども食堂とは・・・

- ・ 子どもを中心に、地域の人みんなでご飯を食べるところ。
- ・ 家族で食事を一緒にとれない子ども、経済状態が良くない子どもへ無料または低額で「食」の支援をするところ。



◆子どもの成長を促す役割も・・・

- ・ 人と会った時の挨拶や勉強のお礼を言うこと、洗い物などの手伝いをするなど、など礼節を自然と学べる。
- ・ 違う年代の人と関わることで、見聞が広がる。



◆協力員その人の居場所にもなりうる

- ・ 協力員の役割は調理、勉強を教える、昔遊びの伝承など様々。子ども⇄子ども、子ども⇄大人、大人⇄大人の関係構築。
- ・ 頻度は月に1回、週に1回など、それぞれ
- ・ 子育てを家庭から地域で行う仕組みに。

1-② フードドライブ (行方市)

- ・ 食品の寄付を特定の場所で受け付け管理していく過程を**フードバンク**という。それに対して、積極的に宣伝し行動していくことを**フードドライブ**いう。
- ・ 行方市でも「**ひとり一品運動**」というイベントで協力を募り、多くの食料品の提供を受けた。



1ー③ わが町ツアー（鹿児島県東串良町）

- ・半日か1日程度で、市内全域もしくは、生活圏域の社会資源を回る。
- ・自分が住んでいる市町村でも、なかなかその施設の機能や有事の際、助けになる資源などに気づけておらず、意外な発見もあった。



1ー⑤ スマホ教室（岐阜県各務原市） かがみがはらし

地元高校のビジネス科生徒のサポートを受け実施。これからスマホの購入を考えている方、持っているが使いこなせていない方を対象に3回に分けて開催。

- 例) ①電話の掛け方、切り方 ②マナーモードの切り替え
③写真撮影や加工の仕方 ④LINEの使い方
⑤その他便利な機能、アプリについて



1ー④ おもいやりサポーター（栃木県市貝町）

日常生活の中でのゆるやかな見守り活動。「あれ、何かおかしいな」「気になるな」という事があれば、社協までお知らせいただき、その情報を元に社協が民生児童委員に情報提供を行うもの。年に4回程度の研修も行い、気づきの目を養っている。

市貝町では平成30年度末時点で10代から70歳代、計25名のサポーター登録者があり、登録サポーターからは1年で10件の情報が寄せられた。

さあ話し合しましょう！！

① 市内の台風一過後の被害、変化について

② 隣人や生活圏域での困りごとについて

本日もご参加ありがとうございました

毎月28日午後1時半は

ほほえみの会いたこ



人の助けを借りたいけど、介護を受けるほどではない

仕事は引退したけれど、誰かの役に立ちたい

高齢の一人暮らし世帯が心配だけど何かできないか

座談会で助け合いのカタチを一緒に話しませんか？

「向こう三軒両隣」「醤油を貸し借りし合える」
地域の人々が当たり前に関わったあの時代・・・。

介護保険サービスではまかなえない、地域の中で
の「見守り」の仕組みや「集いの場」の創出、また
住民一人ひとりが地域社会の中で役割や生きがい
を見つけるきっかけを作りたい。そんな場です。



▲グループで社会資源シートの作成



▲助け合いゲームで悩みを相談中

座談会の活動内容

- ・助け合いゲーム（カードゲーム）で助け合いのカタチを知ろう。
- ・社会資源を、地図へ落とし込んでみよう。
- ・他市町村での活動例の発表や確認。

などなど

参加された皆さんがまず楽しめる、そんな場にして
いきたいと考えています。お気軽にご参加ください。



【お問い合わせ】

社会福祉法人 潮来市社会福祉協議会

〒311-2421 潮来市辻765

より社協にて開催中！ TEL：0299（63）1296 FAX：0299（63）1265

担当：野口貴広 梶晃子

毎月28日
午後1時半

チーム「〇〇会」発足

「いっしょに たすけあう こみゆにてい」構想

愉快地に、楽しく、気楽に…。こんな話のできる場を、これから一緒に作っていきましょう。



① 集まる回数を決める（サークル作り）

例えば1か月に1回とか、2か月に1回集まるとかです。

② 会の名称を決めましょう

参加者が親しみをもって、活動を続けていける名称を付けましょう。

③ さあ話し合いです

みなさんが、普段思っている事、これをやれば地域にとっていいよね。という自由な発想で。



担当：梶晃子

ひとり暮らしの杉山さん。ごみ捨てが大変そうなの。

藤岡さんご夫婦。高い所の電球を変えるのが大変だって話してたけど。誰か頼めないかな。

みんなで集まって、お茶会とかカラオケができるような場を作りたいね。



④ 行動してみましょう

話し合いの中から、これならできるというのを決めてやってみましょう。
自分達のペースでゆっくり進めましょう。

担当：野口貴広



できることを考え
実践してみませんか？